

第1回 横浜港・川崎港カーボンニュートラルポート検討会 議事概要

会議概要

日時：令和3年2月5日(金) 10:00~11:30
会場：川崎市役所第三庁舎 11階会議室(Web会議併用)

議事内容

○事務局から説明

- ・CNP 検討会趣旨
- ・横浜市・川崎市における脱炭素化に向けた取組
- ・横浜港・川崎港 CNP 形成の論点イメージ

○脱炭素化に向けた取組について各企業から紹介

- ・ENEOS (株)
- ・昭和電工 (株)
- ・日本郵船 (株)

○主なご意見

- ・水素・アンモニア等の次世代エネルギーのコストを下げて、ユーザビリティを上げていくことが必要。
- ・次世代エネルギーの利活用にあたっては、既存インフラの有効活用が大切な視点。
- ・横浜・川崎エリアは次世代エネルギーに関連する既存施設などが充実しているので、長期的な視点も含め良い取組を検討できるといい。
- ・海外で水素をメタネーションして輸送してくると既存施設も利用可能。
- ・水素利用が目的ではなく、CO2を減らすことが目的。機器によって、水素の直接利用なのか、電化なのかの仕分けも必要。
- ・アンモニアも有力な候補。リスク管理なども重要な論点。
- ・全国のベストプラクティスを共有することは有効。

以上